

広島県議会議員選挙（福山市選挙区）立候補予定者 公開質問書への回答（返信の順、同時なら五十音順）

立候補予定者のお名前 (敬称略)	(1) 事故を受けて原発をどうする？	(2) 中四国で原発事故の可能性は？	(3) 今後、原発は？	(4) 上関原発は？	(5) エネルギー政策について	(6) 防災について
山下真澄	B. 運転しながら安全対策を強化	A. ある	C. 減らす(次第に廃止へ)	C. 中止する	現実問題として原発を直ちに全廃することはできないが、太陽光や水力による発電を充実することと、不必要な電力使用(例えば、過大な広告塔・ネオン・昼間の道路照明、深夜のテレビ放送、冷やし過ぎの冷房など)を止めることの両方を政策として確立する。また、新たなエネルギーの開発に公的資金を使用(大学などへの研究費)する。	風水害については被害の予測が一定程度、可能であるので、最小限に止めるための工事等を計画的に実施する。地震の対策では、公共施設やライフライン等の耐震化を進める。また、人為的に防止することが不可能な事態も起きることは当然であるので、被災後の救援体制を充実(例えば、避難所の居住環境など)する。
宇田伸	B. 運転しながら安全対策を強化	A. ある	C. 減らす	B. いったん中断して再検討	自然のエネルギーを最大限いかす政策が必要。	まずは日本で最低の学校の耐震化を急ぐ必要がある。
内田務	B. 運転しながら安全対策を強化	C. どちらともいえない	B. 現状維持(今回の事故の教訓を活かし、又電力需給など考え対応すべき)	B. いったん中断して再検討	日々の生活の中でエネルギーは欠かせないものである。住民の安全・安心をしっかりと確保した上で、対応すべきである。	堤防の強化と、学校(避難場所指定)の耐震化を早急に進めるべき。
田辺直史	B. 運転しながら安全対策を強化	A. ある	C. 減らす	B. いったん中断して再検討		
渡壁正徳	C. いったん止め、対応を検討	A. ある	※(5)に転載	B. いったん中断して再検討	※(3)より転載: できるだけ減らした方が良いと思いますが、化石燃料にも問題があり、需要と供給(エネルギー)、風力、水力、太陽光、化石燃料、原子力などのバランスをどうするのか、将来展望をもったエネルギー政策の確立が必要。	地球、人間にやさしいエネルギーの確保のために、出来るだけ努力すべき。又、エネルギーの節約にも合わせて努力すべき。
松岡宏道	B. 運転しながら安全対策を強化	C. どちらともいえない	B. 現状維持	A. 建設を進める	エネルギー使用量の全体を考え(特に需要が年々増加)て原子力利用を国民的に考える必要があるのではないかと。	沿岸部における高波対策も重要であるが、同時に県内は土砂災害危険箇所が多いため、その点に力を入れるべきではないかと思う。
辻恒雄	B. 運転しながら安全対策を強化(今回の震災の教訓を踏まえた新しい安全基準をつくり、全国の原発の総点検を行なう。その際、東海地震の想定震源域の真上にある浜岡原発は停止し、老朽化した原発の「延命」は中止する。危険きわまりない高速増殖炉「もんじゅ」、プルトニウムが入った燃料を一般の原子炉で燃やすプルサーマルなど、プルトニウム利用の核燃料サイクル政策を中止する。)	A. ある	C. 減らす	C. 中止する	原発依存から自然エネルギー(再生可能エネルギー)へ転換し、社会のあり方も「大量生産、大量消費、大量廃棄」の社会から低エネルギー社会へ転換する。	遅れている学校の耐震化(全国で2番目に遅れている)、防潮堤の整備、全国一多い土砂災害危険箇所の整備を急ぐこと。同時に、住民のくらしと福祉を守る自治体本来の役割が発揮されてこそ、災害から住民の命を守ることができる。

立候補予定者のお名前 (敬称略)	(1) 事故を受けて原発をどうする？	(2) 中四国で原発事故の可能性は？	(3) 今後、原発は？	(4) 上関原発は？	(5) エネルギー政策について	(6) 防災について
尾熊良一	B. 運転しながら安全対策を強化していく	C. どちらともいえない	C. 減らす(安全対策内容にもよる)	B. いったん中断して再検討する	現在、稼働中の原発については、安全対策を再度見直し、徹底した安全対策の強化をしていく必要有る。現状の原発は、使用しながら代替としての太陽光発電の推進と新エネルギー開発を行っていくのが良いと思う。	公共施設や病院の耐震化を早く推進していく事と、ゲリラ豪雨時のガケ崩れや土石流等、危険場所の事前点検と防災対策をしっかり行う事が必要。